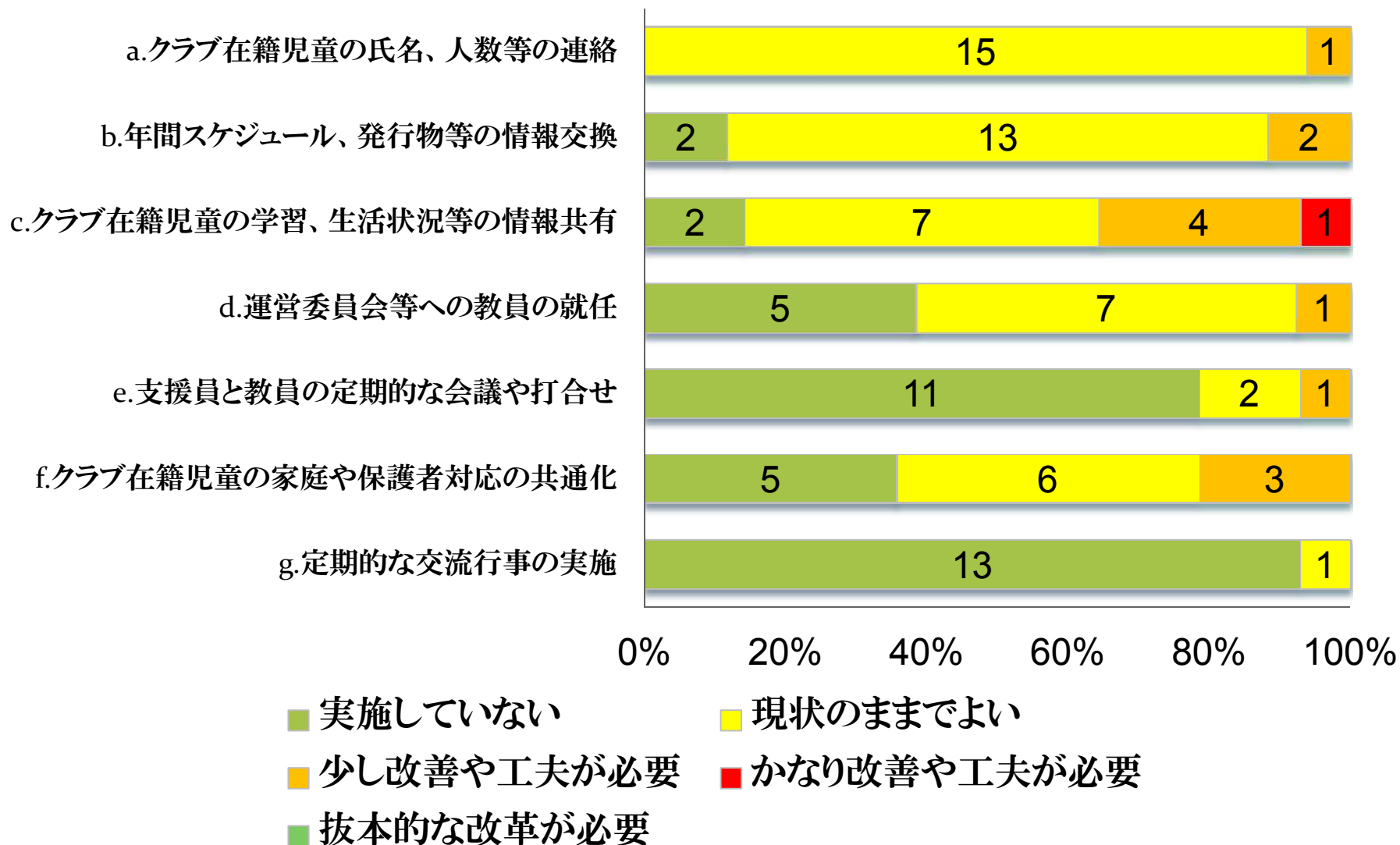


地域放課後児童クラブの 運営に関するアンケート調査報告書 (学校)

概要版

平成29年1月
舞鶴市子ども支援課

問2-1. 放課後児童クラブとの連携として実施している事項



問2-2.具体的な改善点

【児童クラブとの情報共有】

- ・ 放課後児童クラブと学校との間で定期的な会議を持つ必要がある。
- ・ 運営委員会を一度持ったが、児童クラブの子ども的人数も増えてきており、夏休みなど、地域としても何かできることはないか等検討していく必要あり。
- ・ 課題のある児童については、重要な個人情報を含む事も多く、守秘義務について、確認する必要がある。
- ・ 配慮を要する児童も入っているため、情報共有していく必要あり。
- ・ 子どもたちへの双方の指導に生かすため情報共有する機会を持つ

ほとんどのご意見が、
「児童クラブと学校の情報共有」に関するもの

問3. 子どもの発達や成長の観点から 放課後児童クラブに期待する事項（複数回答）

項目	回答数
a.放課後や長期休暇期間を安全に過ごす場所	16
b.保護者との連携のもとで、家庭の子育てを支援する場所	13
c.子どもの緊張を解き、家庭のようにつろげる場所	6
d.基本的生活習慣やルール、マナーを身につけさせる場所	6
e.宿題や自習等の学習活動に自主的に取り組ませる場所	9
f.多くの友達や異なる学年の子たちとの集団生活を通じて、コミュニケーション能力を育む場所	8
g.多くの友達や異なる学年の子たちとの集団生活を通じて、他者への思いやりの心等を育む場所	11
h.子どもの健康を管理し、情緒の安定を図る場所	4
i.遊びの活動への意欲と態度を形成する場所	2
j.遊びを通じた自主性、社会性、創造性を育む場所	6
k.学力の補強や学習の補助を行う場所	1
l.様々な体験活動を通して子どもの生きる力を育む場所	5
m.地域の方々や、幼稚園、保育所、中高生との異年齢交流を通じて、社会性の向上を図る場所	3

問3. 各項目について、どのような取組の実施または、 充実・改善が必要か

a. 放課後や長期休暇期間を安全に過ごす場所(16)

- ・ 年々クラブへの希望が増えるとともに、夏休みのみの希望もあるため、**部屋が狭い**と感じている。
- ・ 特に長期休暇については、児童も多く、1日見てもらうのは本当にご苦労である。**支援員さんの負担軽減**ができないか、
- ・ とにかく**安全が第一**である。
- ・ **安全確保のため支援員を増員**する。また、ゆとりある**スペースを確保**する。
- ・ 体育館や運動場など安全に遊ぶ場所の確保。スポーツ少年団との調整。

b. 保護者との連携のもとで、家庭の子育てを支援する場所(13)

- ・ 連携については、日常のものに加えて、**きちんと話し合える場**がある。
- ・ 保護者が忙しくされている家庭が多いので、**大人（支援員含め）と一緒に遊んでもらえ**ると喜ぶと思う。
- ・ 保護者と気軽に話せる場所や時間を確保し、**子育ての悩みや思いを聞きとり運営に活かす**。
- ・ 保護者への**説明の徹底**（クラブの意義やルール等の理解を求める）

問3. 各項目について、どのような取組の実施または、 充実・改善が必要か

c. 子どもの緊張を解き、家庭のようにつろげる場所(6)

- ・ 殆どの児童が、保護者との関わりが少ないため、丁寧に関わって頂く中で、安心感が持てる状況をつくって頂いている。
- ・ 毎日過ごす場として、節度を守りながらつろげる部分がある。

d. 基本的な生活習慣やルール、マナーを身につけさせる場所(6)

- ・ 学校での決まりやマナーがクラブでは十分守られていない状況が見られる。支援員さんの言うことを素直に聞かない様子もあるので学校としても考えていく必要がある。
- ・ 学校でもクラブでも家庭でも、集団で過ごす場には必ずルールやマナーがあり、最低限身につけなければいけない事は教えていかなければならないと思う。

問3. 各項目について、どのような取組の実施または、 充実・改善が必要か

e.宿題や自習等の学習活動に自主的に取り組ませる場所(9)

- ・ 家庭に帰ってから保護者に宿題を見てもらえない児童もいる。
どこまで見るか、保護者との連携も必要である。
- ・ 退職した教員を配置し指導にあたる。
- ・ 学生等の学習ボランティアの充実
- ・ 落ち着いた環境で学習させる。保護者との連携(家庭で点検と励まし)

f.多くの友達や異なる学年の子たちとの集団生活を通じて、 コミュニケーション能力を育む場所(8)

- ・ 異なる学年の子たちと遊んだり過ごしたりする機会が少なくなってきた。そんな社会状況の中で、児童クラブはとても良い機会となっていると思う。
- ・ 支援員さんに対する言葉遣いの指導(上級生の言葉を下級生に真似る)

問3. 各項目について、どのような取組の実施または、 充実・改善が必要か

g. 多くの友達や異なる学年の子たちとの集団生活を通じて、 他者への思いやりの心等を育む場所(11)

- ・ 学校生活の人間関係がクラブへ、クラブの人間関係が学校生活へ影響する様子が見られる。グループ化したり、一定の子をいじめめるような状況も見られるので、**子ども同士の間人間関係づくりにはきめ細やかな注意や配慮が必要**である。
- ・ 集団生活だからこそ学べることや**下級生を思いやる関係作り**を大切にする。
- ・ 上級生が下級生の面倒を見ることによる**自己有用感の育成**

h. 子どもの健康を管理し、情緒の安定を図る場所(4)

- ・ 児童の健康については、十分配慮していただいている。情緒の安定は基本的に家庭の役割だと考えるが、**落ち着ける場所**であることが望ましい。
- ・ 子どもたちの変化に気づき、**情報を共有化**できると良い。

問3. 各項目について、どのような取組の実施または、 充実・改善が必要か

i. 遊びの活動への意欲と態度を形成する場所(2)

- ・ どの子ども外で元気に遊んでいる姿が見られる。中には一緒に遊べない、関係が結べない子もいるので配慮が必要である。雨天時の遊び場所の確保がいる。(体育館等)
- ・ 遊びから学ぶものはたくさんあると思います。様々な遊びを体験したり、継続して取り組むことで何かができるようになればよいと思います。

j. 遊びを通じた自主性、社会性、創造性を育む場所(6)

- ・ 地域の高齢者から遊びを教えていただいたり、一緒に遊んだりすることで、子どもも高齢者の方も双方が生き生きできる取組があればいいなと思います。
- ・ 多様な体験、遊びを通して子どもたちの変容を見取る。

k. 学力の補強や学習の補助を行う場所(1)

- ・ 学習能力は、個々によって違うので、宿題の分からないところを見るなどの学習補助はできてもそれ以上は難しい。学校との連携が必要。

問3. 各項目について、どのような取組の実施または、 充実・改善が必要か

1. 様々な体験活動を通して子どもの生きる力を育む場所 (5)

- ・ いろいろな活動を工夫してやって頂いている。子どもたちが、それらの行事に参加し、大変楽しんでいる様子を聞き、有難い。
- ・ 生活経験が乏しいと考えられるので、体験を通じた気づきや学びを確保する。
- ・ ぜひともいろいろな体験活動をさせてやってほしい。定期的に工作教室や手芸教室、ゲーム大会などなど。
- ・ 対外的な活動ができるように予算の充実等。

m. 地域の方々や、幼稚園、保育所、中高生との異年齢交流を通じて、社会性の向上を図る場所 (3)

- ・ 他校種との交流を行うには、それなりの計画や準備が必要なので負担が大きくなる。
- ・ 校区の実情から、他校種との交流は難しいが、地域の方々、中でもお年寄りとの交流を通して豊かな心を育む

問4. その他、放課後児童クラブに関する意見

- ・ 今後、益々共働き家庭が増え、児童クラブの人数も増える事が予想される。地域だけの支援員さんにお世話になることが困難になっていくと思われる。配慮が必要な児童も入っているため、安全面などでも支援員さんの負担が大きくなる。
- ・ 放課後児童クラブと学校との情報交換、情報共有、指導のあり方、保護者対応等について、連携して行う必要があると感じている。
(様々なトラブル解決の為にも)
- ・ 本校区の放課後児童クラブは現在人数が少なく、他クラブ以上に家庭的な面がある。その反面、集団としてのルールが守りにくいところがあるので、放課後児童クラブ、学校、家庭が連携してルール、マナーを身につけさせる必要を感じる。
- ・ 放課後児童クラブへのニーズは高まる一方です。子どもたちの様子を見ていると、学校では見せない面が出ているようで、良い意味で解放されている、悪い意味で勝手にふるまっている実態がうかがえます。今後もクラブとの連携を深めつつ子どもを育てていきたいと思えます。